

# 安保破棄ニュース

No. 486  
2017. 10. 13

## 安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町一七一三  
TEL 〇六一六七六三三三三  
FAX 〇六一六七六三三三三  
●Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp  
●ホームページ http://www.anpo-osk.jp

# 「市民と野党の共闘」が 政治を変える時が来た!



市民共同の力が、竹山市政の豊かな実績とビジョンを市民に正確に伝え、維新の「まやかし作戦」と組織戦を下して竹山市長の三選を実現しました。

総選挙では逆に、安倍政権がこの5年間やってきた、憲法を蔑ろにして憲法違反の「特定秘密法」「戦争法」「共謀罪」を強行してきたこと。民意を踏みつけにして沖縄の米軍新基地建設、原発の再稼働を強行していること。そして政治の私物化疑惑にまみれた森友学園・加計学園問題など、暴走政治を明らかにしましょう。

さらに、憲法9条に自衛隊を書き加え、「戦争法」を合憲化しようと、自民党・希望の党・日本維新の会などが選挙公約に「改憲」を掲げている真実を伝え、日本を「戦争する国」にしてしまおうとする企みを断じて許さず、世界に誇る憲法の下、平和で安心してらせる政治を実現するため、この選挙を闘いぬきましょう。

## 疑惑隠しの冒頭解散

### 国民は許しません!

9月28日に「森友学園」「加計学園」に絡む政治の私物化疑惑を徹底究明するため、野党4党が憲法53条に基づいて召集を求めた臨時国会が召集されましたが、審議はおろか安倍首相による所信表明すらすることなく、冒頭に解散されました。

このような憲法をないがしろにする安倍政権は到底許せません。安倍首相は、今回の解散を「国難突破解散」などと述べ、消費税10%への引き上げ、社会保障や教育の問題、そして北朝鮮の問題などに言及しましたが、そのどれもが国会冒頭に解散することの説明にはなり得ず、どう言い繕ってみようと、今回の解散は「疑惑隠し」をしようとするものであり、この間の違憲三法の強行など、安倍政権による暴走政治に対する国民の怒りの世論に追い詰められた結果の解散です。

## 政治を変える大きなチャンス

国会解散を受けて総選挙が始まり、22日の投票に向けての激戦が展開されています。

マスコミなどは、「二つの勢力」の戦いと報じていますが、日本維新の会は改めて言うに及ばず、希望の党が民進党議員を合流させるにあたっての「踏絵」として、安民法制を容認し、改憲を推進する立場に立つことを誓約させたことから、自民党の補完勢力であることは明らかであり、いまや、「1対1」＝「自公と補完勢力」対「市民と野党の共闘」という一騎打ちの戦いとなっています。

全国289選挙区のうち249区で市民と野党の候補一本化が行われ、「本気の共闘」が全国で実現。

「みんなの努力で築き上げてきた野党共闘こそ希望だ」と、市民と日本共産党・立憲民主党・社民党の3野党が力を合わせて戦っています。

9月24日に行われた堺市長選挙では「堺はひとつ!」と広範な

## 2018年名護市長選挙勝利に向けて

来年2月4日に、沖縄県名護市長選挙が行われます。現地では、総選挙後すぐに動き出せる体制がつくられています。稲嶺進市長も再選に向けて出馬を表明しました。

安保破棄大阪実行委員会(大阪安保)としても、名護市長選挙勝利のために、体制を確立し、安保破棄中央実行委員会、安保廃棄沖繩統一連に結集し行動していきます。

準備会を開き、大阪としての活動の具体化を図ります。現地入りとしての支援体制を重点的に取るのは来年1月からの予定ですが、支援行動参加者募集と、支援カンパの取組を進めていきます。多数のご協力をお願いします。

また、大阪安保主催で、「安保・沖縄問題連続学習会」を、開催します。全国で進められている「日米軍事一体化」の問題など安保をめぐる問題を学び、沖縄の基地問題を全国的視点で捉え、名護市長選挙の意義をつかむ学習会です。多数の参加よろしくお願いします。

日米安保について学びなおし、  
名護市長選挙勝利のために備えよう

## 安保・沖縄問題連続学習会

### 第1回：11月10日(金)

○講師：小泉親司さん

(日本共産党基地対策委員会責任者)

全国的な視点から現在の安保をめぐる明代を捉え、  
沖縄の基地問題、名護市長選挙が持つ意味を考える。

○オープニング企画:

映画「いのちの海辺野古・大浦湾」(抜粋)上映

### 第2回：11月30日(木)

○講師：吉田務さん(やんばる統一連代表)

名護市長選挙をたたかうに当たって

○オープニング企画:合唱団「ちばりよ～沖縄」

※各回とも、

○会場：大阪市立「住まい情報センター」3階ホール

○時間：18:15 開場、18:30 開会

○資料代：500円

## 当面の予定

2017年

10月

- 19日(木) 石川文洋写真展&講演会(八尾プリズム小ホール・  
展示:15:00~21:00、講演:19:00~20:30)
- 22日(日) 衆議院選挙投票日
- 23日(月) 大阪 安保23 定例宣伝行動(12:00~淀屋橋)
- 27日(金)~31日(火) 「日本高齢者大会」 in 沖縄
- 28日(土)~29日(日) 日本平和大会 in 岩国
- 30日(月) 名護市長選挙支援準備会(13:30~大阪平和委)

11月

- 1日(水) 常任幹事会(10:00~大阪安保)
- 3日(金・祝) 9条改憲を許さない!アベ政治を終わらせよう!  
11・3 おおさか総がかり集会  
(13:30~中之島公園・剣先広場)
- 4日(土)~5日(日) 新日本婦人の会全国大会
- 10日(金) 大阪安保「安保・沖縄問題学習会」第1回  
(18:30~「住まい情報センター・ホール」、小泉親司氏講演)
- 12日(日) 「標的の島 風たかた」映画と講演のつどい  
(大阪社会福祉指導センター5階ホール)
- 16日(木)~18日(土) 安保中央沖縄名護支援行動
- 17日(金) 「サム・トゥッ・ソリ」 ジャパンツアー2017  
(18:30~エルおおさか・大ホール)
- 18日(土)~19日(日) 地域・職場・青年革新懇全国交流会 in 愛知
- 22日(水) 大阪 安保23 定例宣伝行動(12:00~淀屋橋)
- 24日(金)~26日(日) 「日本のうたごえ祭典」
- 26日(日) 岸和田市長選挙投票日(19日告示)
- 29日(水) 大阪憲法会議・共同センター「秋の憲法大学習会」  
(18:30~エルおおさか南館 ホール)
- 30日(木) 大阪安保「安保・沖縄問題学習会」第2回  
(18:30~「住まい情報センター・ホール」、吉田務氏講演)

12月

- 2日(土)~4日(月) 安保中央名護市長選現地支援行動
- 6日(水) 常任幹事会(10:00~大阪安保)
- 8日(金) 大阪革新懇・「文化と講演の夕べ」  
(18:30~中央公会堂)
- 22日(金) 大阪 安保23 定例宣伝行動(12:00~淀屋橋)

わかもの集まれ!! 沖縄いこかの会「沖縄の声を聞こうツアー」は今回で三度目です。沖縄へ実際に行くことによって、沖縄にある問題が日本全体の問題であるということを感じ、発信して欲しいという趣旨で、今回は13人の参加者で沖縄へ行ってきました。ツアーまでにも月に1回学習会を計画し、琉球新報を読んだり、沖縄料理を作ったり、弁護士の方に沖縄の現状を教えてくださいたりしてきたこともあり、ツアーの行程は「欲張り過ぎ」だと言われるくらい盛り沢山なものになりました。

ツアー一日目は伊江島に行きました。まずは、伊江島で反戦平和の運動に尽力された阿波根昌鴻さんが建てられたヌチドウタカラの家へ行きました。戦争中の生活用品や遺品、米軍の銃弾などを見た後、実際に阿波根さんと一緒に活動されていた館長の謝花さんのお話を聞きました。「私は戦後と違った日は一日もありません」という言葉に始まり、「国は戦争の後片付けをしていない」と不発弾がたくさん残っている現状や、「今の若者は知ろうということを知らない」という問題提起まで、大切な話をたくさんしていただきました。それから、仲嘉さんという村議の方に戦跡と米軍補助飛行場を案内していただきました。小さい島の中に様々なものがあり、「戦跡の横で子どもたちが遊んでいるという状況に驚いた」という参加者の声もありました。

# 見て・聞いて・学んだ 感化

## 沖縄

沖縄の声を聞こうツアー

(大阪青年沖縄ツアー)



## 23 宣伝行動

9月22日に、大阪安保23 定例宣伝行動を、昼12時から行いました。今月の行動で通算355回目となります。

堺市長選挙が、総力を結集して闘われている最中ではありましたが、その合間を縫って参加してくれる人もいて、9団体11人の参加でした。

あいにくの本降りの雨ではありましたが、共産党大阪市議、大阪憲法会議、大阪原水協から弁士を出していただき、臨時国会冒頭解散の問題、北朝鮮問題、核兵器禁止条約について、堺市長選挙についてなど、力強くうたったえました。

傘をさしている人がほとんどのため、いつも以上にビラを受け取ってくれる人は少なかったのですが、受け取ってくれる人はしっかりと手を出して、意識的に受け取ってくれていました。

次回23 宣伝行動は、総選挙投票日翌日の、10月23日です。多数のご参加をお願いします。



二日目は、辺野古のテント村、基地俯瞰2ヶ所、祈念資料館2ヶ所を巡りました。

辺野古の海を見ながら新基地建設の現状を聞くこと、目の前に広がる滑走路からどこに向かい何をするのか想像すること、史料を見ながら数十年前の現状に想いを馳せること...どれもこの沖縄の地でしか感じられないものがあつたと思います。

「伊江島のことは知らなかった。今回知ることができて、もっと知っていきたくて思った」「知ろうとすることを知らないって自分のことだなと思った。友達も誘えばよかった」「もつとじっくり見たい所があつた」等の感想からは、二日間を通してツアーの内容が参加者の心に何かを残したことが分かり、これからの運動や学びにきつと通じる有意義なツアーになったと思います。

(わかもの集まれ!! 沖縄いこかの会事務局 吉松薫)